

令和4年度
周南市こども議会
【 会 議 録 】

令和5年1月31日
周南市教育委員会

令和4年度 周南市こども議会 議事日程（第1号）

令和5年1月31日（火曜日） 午後1時30分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 一般質問

議長

周南市議会 土屋 晴巳 議長

出席議員（29名）

秋月小学校	井上 未来	いのうえ みく	議員
秋月小学校	井上 律	いのうえ りつ	議員
秋月小学校	滝本 花依	たきもと かえ	議員
秋月小学校	永田 留惟	ながた るい	議員
秋月小学校	宮崎 日汰	みやざき ひなた	議員
大河内小学校	明石 梨央奈	あかし りおな	議員
大河内小学校	嶋田 波音	しまだ なおと	議員
大河内小学校	田頭 桃	たがしら もも	議員
大河内小学校	堤 悠亮	つつみ ゆうすけ	議員
大河内小学校	山本 直弥	やまもと なおや	議員
大河内小学校	吉岡 准	よしおか じゅん	議員
桜木小学校	河村 真那	かわむら まな	議員
桜木小学校	近藤 愛真	こんどう えま	議員
桜木小学校	貞弘 和花	さだひろ わか	議員
桜木小学校	縄田 理沙	なわた りさ	議員
桜木小学校	藤田 永吉	ふじた えいきち	議員
桜木小学校	皆田 有貴	みなた ゆうき	議員
福川小学校	大野 瑞季	おおの みずき	議員
福川小学校	小田 耀介	おだ ようすけ	議員
福川小学校	田王 尚希	たおう なおき	議員
福川小学校	田村 睦輝	たむら むつき	議員
福川小学校	原田 沙奈	はらだ さな	議員
福川小学校	藤本 理央	ふじもと りお	議員
湯野小学校	植田 華恵	うえだ はなえ	議員
湯野小学校	勝野井 琳	かつのい りん	議員
湯野小学校	河野 柚輝	かわの ゆずき	議員
湯野小学校	高橋 友飛	たかはし ゆうひ	議員
湯野小学校	中村 一流	なかむら いつる	議員（欠席）
湯野小学校	原田 陽生太	はらだ ようた	議員

説明のため出席した者

市長	藤井	律子	君
教育長	厚東	和彦	君
上下水道事業管理者	井筒	守	君
ポータル事業管理者	亀割	昭二	君
監査委員	久行	竜二	君
総務部長	道源	敏治	君
企画部長	川口	洋司	君
財政部長	高木	一義	君
ネットワーク推進部長	石田	典子	君
地域振興部長	末永	和宏	君
環境生活部長	河本	浩	君
こども・福祉部長	仲西	徹	君
こども局長	穴田	典子	君
健康医療部長	中村	悟	君
産業振興部長	山本	敏明	君
建設部長	野村	正純	君
都市整備部長	高瀬	文三郎	君
新南陽総合支所長	重國	浩之	君
熊毛総合支所長	品田	浩	君
鹿野総合支所長	金本	久志	君
消防長	藤井	陽治	君
上下水道局副局長	徳原	克志	君
教育部長	山本	次雄	君

議会事務局職員出席者

議会事務局長	井上	達也	君
--------	----	----	---

○議長

皆さんこんにちは。周南市議会議長の土屋晴巳です。開会前に一言ご挨拶を申し上げます。

皆さんがおられるこの場所が、周南市議会の議場です。

今日はここで、学校で学習した議会のことや政治の仕組みなどを体験していただきます。

この議場は、市民に選ばれた市長や市議会議員が、周南市のまちづくりのことを議論し、決定する大切な場所です。

今日は、皆さんが市議会議員の議席に着き、こども議員となって質問や提言をしっかりとしてください。大いに期待をしています。

市長や、市役所で市民のために仕事をされている職員からも、真剣にお答えがいただけるものと思います。今日は、どうぞよろしく願いいたします。

続いて、市長からあいさつがあります。

◎市長

皆さん、こんにちは。周南市長の藤井律子でございます。

本日のこども議会は、皆さんが学校で勉強したこと、周南市のまちづくりについて考えたことを、提案というかたちで発表していただきます。皆さんの熱い思いのこもった提案や質問に対して、私もしっかりとお答えしようと思っています。

そして、皆さんの意見や提案のうち、できることは、市政に取り入れていきたいと思っています。少し緊張されているかもしれませんが、しっかり頑張って発表していただきたいと思います。本日はどうぞよろしく願いいたします。

○議長

続いて、総務部長から順次、理事者の自己紹介をお願いいたします。

◎総務部長

皆さんこんにちは。総務部長の道源敏治といたします。総務部では、この建物などの管理のほか、職員の配置、大雨や台風、地震などの災害から皆さんを守る仕事をしています。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎企画部長

企画部長の川口でございます。企画部では、周南市のまちづくりの計画を定めたり、スマートシティの推進、周南公立大学との連携、公共施設の管理等を行っております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

◎財政部長

財政部の高木と申します。財政部は、税金をどのように使うかなど、市のお金をしっかり管理する仕事为主なものです。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎シティネットワーク推進部長

皆さんこんにちは。シティネットワーク推進部の石田と申します。シティネットワーク推進部では、市からのお知らせや市の魅力を広報誌やホームページ、SNS等で市内市外に発信することと、皆さんからのまちづくりに対するご意見をお聞きする仕事を担当しています。本日はどうぞよろしく願いいたします。

◎地域振興部長

地域振興部の末永といたします。地域振興部では、地域の皆さんと一緒に、地域で困っていることを解決したり、観光であったり、文化、スポーツ、それから動物園の管理運営という仕事をしております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎環境生活部長

環境生活部の河本浩と申します。私は、皆さんの毎日の生活に関わるごみ処理やリサイクル、交通安全、また環境をより良くする仕事などを担当しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎産業振興部長

皆さんこんにちは。産業振興部長の山本敏明です。産業振興部では、商業や工業、農業や林業、水産業などのさまざまな産業を応援する仕事をしています。今日はどうぞよろしくお願い致します。

◎こども・福祉部長

こども・福祉部長の仲西と申します。私は、高齢の方や障害のある方、そして生活に困っている方たちが住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援する仕事を担当しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎こども局長

皆さんこんにちは。こども局長の穴田と申します。こども局では、全てのこどもと子育て家庭が心も体も健康で笑顔いっぱいであることができるように仕事をしております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎健康医療部長

健康医療部長の中村悟と申します。私は、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種など、市民の皆さんの健康を守る仕事に取り組んでおります。本日はよろしくお願い致します。

◎建設部長

皆さんこんにちは。建設部長の野村と申します。道路や河川、住宅など、きちんと維持管理して、皆さんが安心して暮らせるまちをつくる、そういう仕事をしております。どうぞよろしくお願い致します。

◎都市整備部長

皆さんこんにちは。都市整備部長の高瀬と申します。都市整備部では、公園や道路、市街地の整備など、まちづくりのほうを担当しております。本日はよろしくお願い致します。

◎消防長

皆さんこんにちは。火災や救急などの対応を担当しております、消防長の藤井陽治と申します。本日はどうぞよろしくお願い致します。

◎教育長

皆さんこんにちは。教育長の厚東と申します。皆さんは将来を担う有用な人材ですから、楽しく安心安全に学校生活を送れるように、職員一同、教育委員会で頑張っているところでございます。今日は皆さんが考えた、学校でできることや、市への提案を聞かせていただけるということでもっと楽しみにしています。緊張していると思いますが、素敵な時間になることを願っています。今日はどうぞよろしくお願い致します。

◎教育部長

皆さんこんにちは。教育部長の山本でございます。教育長をサポートしながらですね、小学校、中学校、そして図書館など、そういったところのお手伝いをしております。本日はよろしくお願い致します。

◎上下水道事業管理者

皆さんこんにちは。上下水道事業管理者の井筒と申します。皆さんの生活に必要な水道と下水の事業を運営しております。今日はよろしくお願い致します。

◎上下水道局副局長

上下水道局副局長の徳原といいます。水道と下水道の業務を担当しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

◎ボートレース事業管理者

ボートレース事業管理者の亀割昭二と申します。ボートレース徳山を経営しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

◎監査委員

監査委員の久行と申します。私は市のお金や施設などの市民の皆さんの財産が正しく使われているか、あるいはもっと工夫することはないか、ということを厳しくチェックしております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

◎新南陽総合支所長

新南陽総合支所長の重國と申します。新南陽地域のまちづくりを担当しております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

◎熊毛総合支所長

熊毛総合支所長の品田と申します。熊毛地域のまちづくりを担当しております。よろしくお願ひいたします。

◎鹿野総合支所長

鹿野総合支所の金本といいます。鹿野地域のまちづくりを担当しております。今日はよろしくお願ひいたします。

◎議会事務局長

最後になりますが、議会事務局長の井上と申します。こうした議会で開かれる会議の運営のサポートをしています。今日はよろしくお願ひいたします。

午後1時40分開会

○議長

ただいまから、令和4年度周南市こども議会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、滝本花依議員、及び高橋友飛議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。

こども議会の会期は、本日1日間としたいと思ひます。これに、ご異議ありませんか。

【 議員から、「異議なし」と呼ぶ者あり 】

○議長

ご異議なしと認めます。こども議会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 一般質問

○議長

日程第3、一般質問を行います。

こども議会における一般質問は、5つの学校から行います。各学校の一般質問は、まず、議員の代表者が「周南市の未来像」を発表します。次に、各議員から「自分ができること」、「学校や地域でできること」などを発表します。それを踏まえて、市長に対して、議員の代表者から質問や提言があります。

議会では、本来、資料等は用いず、発言だけで議論を進めることが原則です。

しかしながら、本日、こども議員の皆さんが、市長や理事者にわかりやすく説明するため、また、これまでの学習の成果を示すため、資料等を用意している学校については、事前に私の方でその内容を確認しておりますので、資料の持ち込みを許可いたします。

それでは、秋月小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 秋月小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第1番、秋月小学校

滝本花依議員、永田留惟議員、宮崎日汰議員、井上未来議員、井上律議員。

◆滝本花依議員

秋月小学校6年の滝本花依です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「秋月の特徴を生かして地域の人と人とかつなげるまち」というテーマで提案します。

秋月地区は、公園が多く、地域の人々が私たちを優しく見守ってくださる温かい地域です。また、ボランティア活動に参加する人も多いです。しかし、公園がたくさんあるにもかかわらず、遊ぶ人が少なく、人と人とかかわる機会が少なくなっています。人と人とかかわる機会が増えれば、まち全体が明るくなり、会話が弾む素敵な地域になると考えます。以上の理由から、このテーマに決定しました。

このテーマを目指して、私たちにできることを発表します。私はそのために、自分から積極的にあいさつをします。

◆永田留惟議員

秋月小学校6年の永田留惟です。私はそのために、進んで地域の行事に参加します。

◆宮崎日汰議員

秋月小学校6年の宮崎日汰です。私はそのために、地域の人と秋月の良さについて意見を交流します。

◆井上未来議員

秋月小学校6年の井上未来です。私はそのために、外へ出る機会を増やし、地域の様子を観察します。

◆井上律議員

秋月小学校6年の井上律です。私はそのために、いろいろな人に秋月地区の良さを伝えます。

◆滝本花依議員

私たちのテーマである、「秋月の特徴を生かして地域の人と人とがつながるまち」にするために、一人ひとりのできることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、秋月小学校でできることを発表します。それは、地域の人と交流ができるイベントについての計画を立てることです。子どもたちが立てた計画をもとにイベントを実施することができれば、秋月地区全体が明るくなると思います。

また、秋月小学校では、毎年秋に集会活動を実施しています。縦割り班に分かれて秋月地区をまわります。ゲームをしたり、他の学年と関わったりすることでより仲が深まります。そういうときに会う地域の人に気持ちのよいあいさつをして、日頃の感謝を伝えることができれば、人と人とがもっとつながっていくと思います。

◆永田留惟議員

次に、地域でできることについて発表します。それは、地域の方が学校に入って、私たちに勉強を教えてください、昔の知恵などを教えてください、ということです。そうすることによって、地域の人と顔見知りになり、あいさつも気軽にすることができます。まちで会ったときにも、あいさつだけでなく、会話も弾むようになると思います。

◆宮崎日汰議員

そこで市長に提案いたします。

1つめが、多くの人が利用し、交流できる場所となるように、秋月公園の遊具や施設を整備してほしいということです。

今ある遊具はたいへん古く、ペンキがはがれている部分もあります。遊具をカラフルに塗りなおせば、公園利用者が明るい気持ちになると思います。また、地域の人たちに優しい施設や遊具があれば、自然と人が集まることができると思います。例えばベルトのついたブランコやスプリング遊具などがあれば、小さな子でも安心して楽しめます。親も安心できます。

秋月公園はジョギングをしている人が多いです。公園内にジョギング・ウォーキングコースがあれば、安全に運動ができるようになると思います。

そして、東屋を建てれば、ちょっと休んだり、そこで会った人同士が交流したりすることができると思います。

したがって、ぜひ秋月公園の遊具や施設の整備をお願いしたいと思います。

◆井上未来議員

2つめが、地域の道にベンチを設置することと、利用者の多いアルク付近のバス停に屋根とベンチを設置してほしいということです。

秋月地区は坂が多いまちなので、お年寄りにとっては上り下りがたいへんです。そこで、歩きつかれたときに休憩することができる場所があれば、歩くことが苦痛でなくなり、これまで以上に外に出てくれるようになると思います。

また、アルクの前のバス停には、屋根もベンチもなく、雨の日などはバスを待つ人がとても大変そうです。屋根やベンチを設置することで、雨の日でもぬれずに座って待つことができると思います。

ベンチがたくさん設置されることで、人が集まり、どんな人とも会話が弾むでしょう。

したがって、ぜひ坂道へのベンチの設置とバス停への屋根とベンチの設置をお願いしたいと思います。

◆井上律議員

私たちは、秋月地区の交流を深めるために、子ども主体のイベントを開催したいと考えています。しかし子どもたちだけでは、実現が難しいと思います。

そこで、提案の3つめが、子どもたちのよりよいまちづくりを具体的に支援してくれる「子ども応援課」を設置してほしいということです。

例えば、秋月地区をまわるスタンプラリーやフリーマーケットなどのイベントを実施する際に、企画や計画するときと同席してアドバイスをしてくださったり、子どもだけでは難しい作業や活動を手伝ってくださったり、デザインしたチケットやポスターを印刷し、配布する手配をしてくださったりしていただければ、子どもたちのアイデアがいかされた充実したイベントになると思います。

したがって、子どもたちの考える「よりよいまちづくり」を実現させるために、ぜひ「子ども応援課」の設置をお願いしたいと思います。

以上、3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

秋月小学校の皆さんから、秋月の特徴を生かして、地域の人と人がつながるまちにするためのご提案をいただきました。自分たちの地域をよく観察し、特徴と問題点、解決策をしっかりと考えてもらっていることを、大変嬉しく思います。特にお年寄りのことまで考えたご提案には、皆さんの優しい気持ちがよく表れているな、と感じました。

まず、「多くの人が利用し、交流できる場所となるように、秋月公園の遊具や施設を整備してはどうか」との最初のご提案にお答えいたします。

市内の公園は、周南緑地公園や永源山公園などの大きな公園をはじめ、秋月公園などの身近な公園を含め223箇所あります。公園を安全に、また快適に利用できるよう、遊具などは、定期的な点検や、ペンキを塗り替えるなどの修繕を行っています。修繕等で対応できない場合は、新しいものに替えたりしています。

公園は子どもからお年寄りまで、いろいろな人が利用されます。遊具で遊んだり、スポーツをしたり、ベンチに座って話をしたり、木陰で涼み、みどり豊かな景観を楽しむなど、健康的な生活に必要な活動を行うことができます。

また、公園は地域のコミュニティの場所として、イベントや祭り、災害時の避難場所としても利用されますが、近年では新型コロナウイルスの影響でイベントが自粛されたり、テレビゲームをするなど、家の中にいることが増え、公園で元気に遊ぶ子どもたちの姿や、楽しそうな声を聞くことが少なくなり、寂しく感じているところです。

秋月公園の遊具や施設の整備につきましては、皆さんが快適に、楽しく、安全に公園を利用でき、地域交流の場となるよう考えていきたいと思えます。

次に、「坂の多い地域の道沿いにベンチを設置してほしい」とのご提案にお答えいたします。

私は、この一般質問の通告書を見て、お年寄りのことを考えた心優しい、思いやりのある提案だと思い、とても感動しました。皆さんやお年寄りが気軽にベンチに座って、会話が広がる休憩場所があれば、人と人をつなぐ素敵な地域になると思います。

秋月地区は、皆さんがご存じのとおり、坂道が多く、広い住宅街もあります。

道路は、歩道と車道が別々になっているものや、歩道と車道が一緒になっていてラインだけ引いてあるものなど、いろいろな種類があり、市では、皆さんが安心して通行できるように、道路にカーブミラーを設置したり、区画線を引いたり、安全対策を行っています。

ベンチを設置するには、十分な広さの歩道と、休憩スペースが必要ですので、道路の種類や構造などの調査をしながら、今後、検討してまいります。

次に、「利用者の多いアルク付近のバス停に、ベンチと屋根をつくってはどうか」とのご提案にお答えいたします。

市では、バスや電車などの公共交通を利用する方が、安心して待つことができるよう、環境の整備に取り組んでいます。その中で、バス停の周辺にベンチや屋根を設置することにつきましては、道路と同様に、バス停周辺に十分な広さがないと、歩道が狭くなって、車いすの方や視覚障害者の方が通りにくくなる可能性があります。

アルク秋月店付近にある「秋月二丁目」のバス停も、周辺に十分な広さがなく、整備することは難しいと考えております。しかし、このたびのご提案を受け、アルク秋月店の前にあるバス停については、アルク秋月店の店長さんに、店の軒先にあるベンチを、バスを待つ人も使えるようお願いしたところ、「どなたでもお使いください」と、快くお返事をいただきました。ぜひ、皆さんからも、店長さんにお礼を言っていただけるとありがたいと思います。

市といたしましては、皆さんの提案を参考にして、秋月地区に限らず、他の地域でも、誰もが公共交通を気持ちよく利用してもらえるように努めてまいります。利用者のためを思った心優しい提案をありがとうございました。

最後に、「子ども主体のイベントを具体的に支援する、子ども応援課をつくることや、まちづくりについて考えたことなど、子ども達の声を聞くこと」についてのご提案に、お答えいたします。

私は、全ての子どもは、まちの宝であり、大きな可能性を秘めたかけがえのない存在として、未来へと繋げる希望であると思っています。こうした考えから、子ども達の健やかな成長をしっかりと後押しするとともに、子育て家庭への支援をより一層強化するため、令和3年度に、新たに子どもに関する部署として「こども局」をつくりました。

今後、秋月小学校の皆さんがイベントを開催したり、また、まちづくりで考えたことなど、市に相談したいことがある場合には、学校を通じてでも結構ですので、まずは、遠慮なく、こども局にご連絡いただきたいと思います。

私は、今回のご提案のような子ども達の主体的な取組をしっかりと応援したいと考えております。これからのまちづくりを進める際には、子ども達の意見を大切にしながら考えていくことも必要です。来月には、小学5年生と6年生を対象としたアンケート調査を行う予定にしておりますので、皆さん、是非、たくさんのご意見を聴かせてください。

以上です。ありがとうございました。

○議長

再質問はありませんか。

◆永田留惟議員

先ほど質問いたしました、公園の遊具や施設を整備してほしいということについて質問いたします。秋月公園の対応はいつ頃を予定していらっしゃるでしょうか。回答をお願いします。

◎都市整備部長

秋月公園の施設を新しいものに替える場合の時期についてのご質問に、お答えいたします。

市内の公園に、ある施設のほとんどは、作られて数十年が経っています。皆さんが使われている遊具などの施設を、将来に渡って利用し、守っていくために、市では計画をつくり、これに基づいて維持管理を行っているところです。

古くなった施設を、新しいものに全て替えることは、多くの費用や時間がかかります。そのため、少しの費用で、定期的な維持管理を行い、今あるものを長く使ってもらえるような維持管理

に取り組むことが必要とされています。皆さんも、今ある遊具などを大事に使って頂ければと思います。

現在、秋月公園に新しい遊具などの施設をつくる具体的な計画はありませんが、今後、地域として公園をどのように利用していくのか、そのために新しい施設は何か必要なのかなどを、皆さんや地域の方といっしょに考えていきたいと思っております。

○議長

ほかに再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、秋月小学校の一般質問を終了いたします。

【 秋月小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、大河内小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 大河内小学校6名、質問席に移動 】

質問順位第2番、大河内小学校

嶋田波音議員、吉岡准議員、堤悠亮議員、明石梨央奈議員、山本直弥議員、田頭桃議員。

◆嶋田波音議員

大河内小学校6年の嶋田波音です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

僕たちは、「くらしやすさいっぱいになる大河内」というテーマで提案します。

僕は、自然豊かで、優しい地域の方々がたくさんいる大河内のまちが大好きです。僕たちは、大河内のまちの人たちにとってよりくらしやすくなるためにはどうすればよいか、どんな取組を行ったら笑顔になれるのかを考えました。

子どもから大人までくらしやすいまちを目指して、僕たちにできることを発表します。僕は、ポスターやチラシを作成し、地域の方に呼びかけ、地域の方と一緒にあいさつ運動を行います。

◆吉岡准議員

大河内小学校6年の吉岡准です。僕は、総合的な学習の時間の中で、農家の方と一緒に野菜作り体験をします。また、育てた野菜をバザーなどで販売する時の手伝いを行います。

◆堤悠亮議員

大河内小学校6年の堤悠亮です。私たちのテーマである、「くらしやすさいっぱいになる大河内」にするために、一人ひとりでできることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

私は、地域に住んでいる方と協力して、ゴミを拾いながら大河内のまちをきれいにしていくとともに、まちの人たちが交流することができるようなイベントを行いたいと思います。

◆明石梨央奈議員

大河内小学校6年の明石梨央奈です。そこで市長に提案いたします。

一つ目は、無人販売所をつくり、いつでも気軽に買い物ができる場所をつくってほしいと思います。そこで、地域の人が育てた野菜や果物などを販売し、いろいろな人が気軽に買い物ができるような場所があったらよいと思います。そのために、コインロッカー型の無人販売所を設置し

てほしいと思います。

◆山本直弥議員

大河内小学校6年の山本直弥です。

二つ目は、大河内地区に多くある空き家を活用し、カフェを開き、地域の人が集まって話ができる場所になったらいいと思います。そこに、子ども食堂を併設し、子どもも気軽に足を運んで地域の方と過ごすことができたらいいです。そのような場所を周南市で運営していただけたら嬉しいです。

◆田頭桃議員

大河内小学校6年の田頭桃です。

三つ目は、子どもから大人までたくさん人が集まるイベントを開催したいと思います。そのため、イベントができるような運営のサポートをお願いしたいと思います。そのイベントを通して、大河内のまち全体を元気にしていきたいと思います。

以上、三つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

大河内小学校の皆さんから、大河内のまちがくらしやすさいっばいになるための3つのご提案をいただきました。人と人とのふれあいの機会を増やすための取組をいろいろと考えていただきましたね。皆さんの地域に対する思いが伝わってくる、素晴らしい提案だと思います。

まず最初の、「地域の人が育てた野菜などを販売するためのコインロッカー型無人販売所を設置してはどうか」とのご提案にお答えいたします。

現在、市内の農家の皆さんが育てた新鮮で美味しい野菜や果物は、スーパーマーケットやJAの直売所、道の駅ソレーネ周南など、様々な場所で販売されています。また、暮らしやすい地域にすること、地域に賑わいをつくること、農家の皆さんの生きがいをつくることなどを目的に、地域の皆さんが力を合わせて、市民センターや空き家などを活用して、野菜を販売する取組も広がっております。

皆さんが暮らしている大河内地区でも、ホタル狩りなどの地域の行事に合わせて、地元で採れた野菜が販売され、大変、喜ばれているとお聞きしております。

こうしたなか、ご提案いただいた、いつでも気軽に買い物ができるコインロッカー型の無人販売所は新しい販売方法だと思います。私としては、まずは、野菜を育てる農家の方々をはじめ、大河内地区の皆さんで、この素晴らしい提案の実現に向けて、話し合いを進めていただきたいと思います。

次に、「空き家を借り上げ、カフェやこども食堂を運営してはどうか。」のご提案にお答えいたします。このご提案は、空き家問題といった地域の課題解決と合わせて、地域の人たちが気軽に集まれて、会話を楽しむ場所をつくることにより、地域の交流を深めるものであり、大変素晴らしいアイデアだと思います。

地域がますます元気になっていくためには、地域の人たちの交流や連携が不可欠であり、交流の拠点が増えていくことは、まちづくりを進めるうえでも大変望ましいことです。

現在、市では「地域の夢プラン」という、地域住民の皆さんが「住んで良かったと思えるまちづくり」を進めるための、計画づくりを支援しており、大河内地区でも地域の皆さんが話し合いを重ね、空き家などが増えていることにも問題意識を持って、夢プランの完成に向けて取り組んでおられます。また、こども食堂につきましては、地域の皆さんが運営しやすいように研修会を通じて必要な情報の提供や、補助金などの支援を行っています。引き続き、地域の取組をしっかりと

りと支援してまいりたいと考えています。

最後に、3つ目の「イベントを開催するときのサポート」についてのご提案にお答えいたします。先ほどの、交流の場づくりと同様に、お祭りや朝市などのイベントの開催も、地域の絆や地域への愛着を深めるために、とても重要なことだと思います。新型コロナウイルスまん延防止のため、様々なイベントが中止をよぎなくされ、地域のつながりが少なくなることも心配されています。

皆さんが新しいイベントを開催される際には、市もアドバイスや、施設の提供、イベント機材の貸出など、協力をさせていただきますので、ぜひとも実現して頂きたいと思います。

それでは、担当部長より補足回答をさせます。

◎地域振興部長

2点目の空き家を借り上げ、カフェやこども食堂を運営してはどうかのご提案について、補足の回答をさせていただきます。

皆さんが国語の授業の「まちの幸福論」で勉強されているとおり、まちを元気にしていくためには、地域の皆さんが主体的にまちづくりに取り組むことが重要です。そのため、市では地域の課題解決や地域の魅力をもっと高めるための計画である「夢プラン」の取組を進める地域に対して、話し合いのサポートや、補助金の交付など、支援を行っております。

大河内地区でも「夢プラン」の作成を令和3年度から進められておられますが、大河内小学校の児童の皆さんも、夢プランを作成する地域の方との意見交換を行うなど、まちづくりの学習をされていると聞いています。

これからも、友達と、家族と自分が住む地域を良くするために話し合ったり、自分自身で考えながら、地域の方と一緒にまちづくりに参加をして頂けると「子どもから大人まで暮らしやすく笑顔あふれる大河内のまち」につながっていくと思いますので、よろしく願いいたします。

◎こども局長

こども食堂の取組について、私のほうからご紹介をいたします。

現在、市内には、山口県に登録されているこども食堂として、18箇所のこども食堂が活動されています。こども食堂は、子どもから大人までの多くの人が集まり、一緒になって、食事や会話、様々な体験などを楽しむことで交流が深まり、地域が繋がり、みんなが笑顔になれる取組の一つです。

このたびの皆さんのご提案は大変素晴らしいものと思います。「くらしやすさいっぱいになる大河内のまち」を実現するために、こども食堂の取組についても効果的であると考えておりますので、市としても、しっかりと応援してまいりたいと思います。

○議長

再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、大河内小学校の一般質問を終了いたします。

【 大河内小学校6名、議員席に移動 】

○議長

一般質問の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。

次の会議は、午後２時３５分から再開いたします。

14時17分休憩

14時35分再開

○議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、桜木小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 桜木小学校6名、質問席に移動 】

質問順位第3番、桜木小学校

近藤愛真議員、貞弘和花議員、皆田有貴議員、河村真那議員、縄田理沙議員、藤田永吉議員。

◆近藤愛真議員

桜木小学校6年の近藤愛真です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは、「とおの山を観光地として、たくさんの人が登り、にぎわうまちにするために」というテーマで提案します。私たちは、自分たちが住む桜木地区を盛り上げるために、何かできることはないかと、みんなで考えました。その中で、桜木地区にある自然豊かなとおの山を生かしてはどうかとなり、実際に山に登り、とおの山の良さを調べに行きました。山頂から一望できる周南市の景色は、とても素晴らしいもので、ぜひこれをみんなに伝えたいと感じました。

そこで、とおの山を観光地としてたくさんの人でにぎわうまちにしたいということで、このテーマに決まりました。このテーマを目指して、私たちにできることを考えたので発表します。

私はそのために、地域で行われるとおの山での行事に参加します。

◆貞弘和花議員

桜木小学校6年の貞弘和花です。私は、そのために、地域の人たちとおの山を登ってみたいです。

◆皆田有貴議員

桜木小学校6年の皆田有貴です。私は、そのために、とおの山について調べたり、登ったりします。

◆河村真那議員

桜木小学校6年の河村真那です。私は、そのために、家族と一緒にとおの山に登り、山頂でお弁当を食べるなどして楽しみたいです。

◆縄田理沙議員

桜木小学校6年の縄田理沙です。私は、そのために、友達や家族におと山の良さを伝えます。

◆藤田永吉議員

桜木小学校6年の藤田永吉です。私は、そのために、とおの山の山頂から見えるきれいな景色をいろんな人に伝えます。

◆皆田有貴議員

私たちのテーマである、「とおの山を観光地として、たくさんの人が登り、にぎわうまち」にするために、一人ひとりでもできることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、学校でできることについて発表します。それは、私たちが作ったパンフレットやポスター

を学校に置き、とおの山の良さを1年生から6年生までの多くの人に広く発信していくことです。とおの山について知ることで、家族と登ったり、山頂から見る周南市の景色に感動したりして、家族や自然と関わる機会が増えると考えました。

◆貞弘和花議員

次に、学校と地域が協力してできることを発表します。

それは、登山を一緒にすることです。私たちの学校では、とおの山に登る学校行事が数年前までありました。その行事を復活させてはどうかと考えました。また、地域の方々に協力を依頼し、一緒に登ってもらいたいと思います。地域の方々に見守ってもらうことで、安全に登れるし、とてもよい交流になるのではないかと考えました。

◆縄田理沙議員

私たちは、とおの山の良さをアピールすることで、周南市を盛り上げたいと考えています。そこで、市長に提案いたします。

1つ目は、登山口を分かりやすくするための看板を作成し、設置してほしいです。そうすることで、多くの人にとおの山に登る入口を知らせてほしいと思います。

◆河村真那議員

2つ目は、登山道やトイレ、山頂などをきれいに整備し、気持ちよく登山できるようにしてほしいです。これらを整備すれば、子どもから大人まで、多くの人が登りやすい山になると思います。

◆藤田永吉議員

3つ目は、私たちが作成したパンフレットを、市のいろいろな施設に置いてもらいたいです。桜木地区だけでなく、周南市の多くの人にとおの山の良さを知ってもらうきっかけになると思うからです。

◆近藤愛真議員

4つ目は、とおの山の情報や、私たちが作成したパンフレットを、市のホームページで紹介してもらいたいです。そうすることで、周南市だけでなく、様々な地域の人が来やすくなると思うのですが、いかがでしょうか。

以上、4つのことについて回答をお願いします。

◎市長

桜木小学校の皆さんから、とおの山を観光地として、たくさんの方が登り、にぎわうまちにするためのご提案をいただきました。皆さんがとおの山に愛着を持ち、誇りに思っていることがすぐく伝わってきました。桜木地区の方々とおの山を愛する気持ちが、小学生の皆さんにもしっかりと受け継がれていることを感じました。

4点質問をいただきました。まず、「とおの山の登山口を分かりやすくするための看板を作成し、設置してはどうか」とのご提案にお答えいたします。

標高約290メートルのおの山は、市街地から山頂まで約30分で安心して登ることができ、山頂からはコンビナートや徳山湾に浮かぶ島々の素晴らしい景色が見渡せるなど、多くの方が訪れる魅力ある山であると認識しています。

登山口の看板につきましては、地域の方が設置されていますが、一部には字がかすれていたり、古くなって壊れている看板もあると、職員から報告を受けています。これらの看板については、設置されている状況を確認したうえで、どのような改善ができるのかを、地域の方と一緒に検討

していきたいと考えています。

次に、「登山道、トイレ、山頂の整備」についてのご提案にお答えいたします。

賑わいあふれるまちにするために、観光地として、とおの山を整備することはとても良いアイデアだと思います。現在、地域の方々が、登山道や山頂の草刈りを年に数回実施されたり、トイレや、山頂の東屋、展望台などの施設の維持管理を行っておられます。こうした地域の方々が一体となって、とおの山を自分たちの手で守られていることは、大変素晴らしいことだと思います。このような地域での活動に対し、市としてどのように支援ができるのかを検討していきますので、皆さんも地域の山を守るために、できることを探してぜひ挑戦してみてください。

次に、「とおの山のパンフレットを作成し、市の施設に置くこと」についてのご提案にお答えいたします。

とおの山のパンフレットの作成につきましては、皆さんの知っている、とおの山の魅力をたくさん盛り込むことで、より多くの人に知ってもらえる素晴らしいものになると思いますので、皆さんが作成したパンフレットについては、市の主な施設に設置させていただきたいと考えております。

最後に、「パンフレットを市のホームページで紹介してもらえないか」とのご提案にお答えいたします。

皆さんが桜木地区に多くの人を呼び込むために作成したパンフレットにつきましては、市のホームページでも紹介させていただきたいと考えておりますので、ぜひ市にお知らせください。皆さんの思いのこもったパンフレットの完成を楽しみにしております。

○議長

再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、桜木小学校の一般質問を終了いたします。

【 桜木小学校6名、議員席に移動 】

○議長

次に、福川小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 福川小学校6名、質問席に移動 】

質問順位第4番、福川小学校

小田耀介議員、藤本理央議員、田王尚希議員、原田沙奈議員、大野瑞季議員、田村睦輝議員。

◆小田耀介議員

福川小学校6年の小田耀介です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは、「福川の歴史的な建物を軸に、地域の人々のつながりがあるまちにするために」というテーマで提案します。

福川には、辰尾神社や福川本陣、忠魂碑、若山城跡など、歴史的な建物がたくさんあります。また、海や川、森など多くの自然に囲まれています。福川駅も近くにあり、私たちも乗り、遠足

などで利用しています。昔ながらの商店や飲食店などが残っているところもあります。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響で地域の人との関わりが減ってきています。見守り隊や放課後子ども教室など、関わる機会は限られています。

福川の歴史的な建物を軸にして、地域の人と関わりをもち、より福川を盛り上げ、多くの人が福川に来てほしいと思い、テーマを決めました。

このテーマを目指して、私たちにできることを発表します。私は、福川のまちをきれいに保つために、清掃活動に積極的に参加します。

◆藤本理央議員

福川小学校6年の藤本理央です。私は、福川の特色や、良さを、家の人や地域の方に積極的に伝えます。

◆田王尚希議員

福川小学校6年の田王尚希です。私は、地域の行事に積極的に参加します。

◆原田沙奈議員

福川小学校6年の原田沙奈です。私は、歴史的な建物について、どんな歴史があるのかをもっと調べます。

◆大野瑞季議員

福川小学校6年の大野瑞季です。私は、福川の魅力を動画に収め、全校集会などを使って学校の中で、魅力を共有しようと思います。

◆田村睦輝議員

福川小学校6年の田村睦輝です。私は、自分達が「福川のまちの歴史」を詳しく調べ、知ろうと思います。

◆藤本理央議員

私たちのテーマである、「福川の歴史的な建物を軸に、地域の人々のつながりがあるまち」にするために、一人ひとりのできることに他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、福川小学校でできることを考えました。それは、福川に昔から住む地域の人に出前授業をしてもらうことです。歴史的な建物をずっと守ってきた地域の人に、実際に話を聞くことで、本やインターネットの情報だけではない、地域の歴史をもっと知ることができると思います。

◆田王尚希議員

また、地域のイベントに参加したり、ゴミ拾いのボランティアをしたりすることで、地域の人との関わりも増えると思います。

◆原田沙奈議員

次に、地域でできることについて発表します。

それは、バザーや秋祭りなどのイベントを行うことです。福川の飲食店や商店などに協力してもらい、大きなイベントを開催することで、それらのお店を知ることができ、イベント後にお客さんとして訪れる人が増えて、さらに福川を盛り上げていけないのではないかと考えました。

◆大野瑞季議員

また、現在でも、福川駅前定期的に野菜の市を開催しています。そこで手芸品を売る方もいます。その市を歴史的な建物を会場にして開催することで、歴史的な建物についても知ってもらえるのではないかと思います。

◆田村睦輝議員

私たちは、福川についてもっと知り、地域の方と協力しながらさらに盛り上げていきたいと考

えています。

そこで市長に提案します。

1つ目の提案は、学習などで作った建物についてのポスターや看板を福川地区だけではなく、福川地区以外の駅、市役所などに掲示することです。多くの人を利用する場所にポスターを掲示したり、看板を設置したりして、少しでも興味をもってもらいたいです。

また、福川に興味をもってもらうために、市のホームページや SNS で発信している情報を、さらに福川に特化したものにするのはどうでしょうか。

2つ目は、福川駅から若山城跡までのスタンプラリーを企画し、イベントを開催してほしいということです。若山城跡は自然が多く、坂もあるので運動するにはぴったりなので、健康的なイベントとしてアピールできると思います。

3つ目は、地域の方にも呼びかけてゴミ拾いのボランティア活動などを行いたいのので、情報発信をしてもらいたいということです。福川小学校は子どもが少ないので、きれいで、魅力のあるまちにするためには地域の方の協力が必要不可欠です。地域の方ともっともっと深くかかわるためにも福川地域の方にも呼びかけてもらえたら嬉しいです。

以上の3つについて、回答をお願いします。

◎市長

福川小学校の皆さん、福川にある歴史的な建物を活かし、地域の人々のつながりがあるまちにするために、アイデア溢れる提案をありがとうございます。地域にある魅力を再認識し、それを地域外へアピールするとともに、地域の人とつながっていこうとする取組を考えてくださったこと、大変嬉しく思います。

まず、「児童の皆さんが作ったポスターを、福川地区以外で掲示したり、看板を設置したりしてはどうか、また、歴史的な建物についての情報を、市のホームページや SNS で発信してはどうか」とのご提案にお答えいたします。

皆さんが住んでいる福川地区には、陶氏が築いた若山城の跡や、江戸時代に参勤交代する大名などが宿泊した本陣の門のほか、神社やお寺など、昔から大切にされてきた建物や文化財が、たくさんあります。

福川にしかない魅力の一つとして、建物や文化財を地域の方々に改めて知っていただくことや、市内に留まらず市外・県外にお住まいの方に紹介することで、「福川に行ってみよう」と思っただけでなく、福川だけでなく周南市を賑やかにし、発展させていくうえで大切なことだ、と考えています。

こうした地域の魅力を集め、多くの人に広めていく取組を、市のシティプロモーションでは、地域や学校と連携し行っています。児童の皆さんが福川地区をPRするポスターを作られた時には、市内各地の公共施設で掲示したり、市の SNS で紹介するなど、たくさんの方に福川の魅力が伝わるよう、お手伝いしたいと思います。

また、最近ではスマートフォンのアプリを通じて地域の歴史や建物などの情報を紹介する方法もあります。若山城跡や福川本陣跡などの文化財につきましては、市のホームページで紹介するなどしていますが、デジタル技術を活用して、もっと気軽に情報が手に入るようにする必要がありますと考えていますので、どのような方法が良いか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

地域の人しか知らない、または、身近過ぎて気づいていない魅力の数々を発見し、地域の外へ

向かって発信していくことは、その地域に暮らす人にとって、故郷を誇りに思うきっかけとなるものです。

このたびの皆さんからのご提案は、福川というところに興味を持つ人を増やしたい、という願いから生まれたものであり、取組を通じて、地域の人々がこころつながるきっかけとなるとともに、福川を良いまちだと思える人が増えることを、私も願っております。ぜひ、一緒に取り組んでまいりましょう。

次に、「スタンプラリーなどのイベントの開催」についてのご提案にお答えいたします。

福川地区の史跡めぐりのイベントとしては、平成29年、30年に、観光ボランティアガイドの方が案内する「周南健康ウォーキング 福川歴史産業コース」が開催されました。

健康を目的としたウォーキングでの福川地区の史跡めぐりと、味噌づくりの体験を組み合わせたコースで、大変好評だったと聞いております。

その内容を参考に、福川地区の歴史的建物を中心としたイベントなどにつきまして、福川地区へ多くの方が訪れていただけるよう、検討してまいりたいと考えています。

最後に、「ボランティア活動の地域への情報発信」についてのご提案にお答えいたします。

地域をきれいにしたいと市長に提案するのではなく、自分たちでゴミ拾いボランティアをするから、それを呼びかけて欲しいという考え。頼りがいのあるとても素晴らしい考えだと思いました。皆さんが主体的に取り組むと、そのことを知った地域の方はきっと協力したくなると思います。

多くの地域の方に活動のことをお知らせする方法として、学校運営協議会を通じて参加を呼びかけたり、学校で作成したチラシを地域の自治会で回覧したりする方法があります。

チラシについては、市民センターなどの市の施設にも置くことができます。市においてもできる限りの協力をしていきたいと思っております。一緒に頑張りましょう。

○議長

再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、福川小学校の一般質問を終了いたします。

【 福川小学校6名、議員席に移動 】

○議長

次に、湯野小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 湯野小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第5番、湯野小学校

高橋友飛議員、勝野井琳議員、植田華恵議員、河野柚輝議員、原田陽生太議員、中村一流議員。

なお、本日、中村一流議員は欠席されております。

◆高橋友飛議員

湯野小学校6年の高橋友飛です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだっ

たらしいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは、「湯野を楽しく活気のあるまちにするためには」というテーマで提案します。まず私たちは、「小さい子からお年寄りまで、みんなが積極的に湯野を訪れる場所」をイメージしており、そのために、場所や建物など「常にそこにあるもの」というテーマを掲げました。

現状、湯野は小さい子どもや家族連れが楽しく過ごせる場所が少ないです。歴史的な建物はありますが、それだけでは、人が集まる魅力的な材料にはなっていません。湯野公園のトイレや遊具、サンサンロードなど、重要なスポットが整備不足のため、清らかな夜市川で自然に触れたり散歩しながら歴史を学んだり、本来の目的が十分に達成されていません。結果、湯野は人が少ない寂しい場所になっています。

そこで、まずは自分たちでできることを考えました。私は、地域の伝統的な行事に積極的に参加します。地域とのつながりを深めることができるからです。

◆勝野井琳議員

湯野小学校6年の勝野井琳です。私は、地域のイベントに積極的に参加します。友達や親せきが集まることで、盛り上げる一員になることができるからです。

◆植田華恵議員

湯野小学校6年の植田華恵です。私は、多くの人に自分からあいさつをします。みんなが嬉しい気持ちになり、顔見知りも増えるなど、地域とのつながりを深めることができるからです。

◆河野柚輝議員

湯野小学校6年の河野柚輝です。私は、湯野の歴史について学んで、多くの人に説明できるようにします。湯野のことを多くの人に知ってもらおうきっかけになるからです。

◆原田陽生太議員

湯野小学校6年の原田陽生太です。私は、下の学年の児童に、湯野の伝統や良さを進んで伝えます。湯野の伝統や良さを多くの人に広めることができるからです。

◆高橋友飛議員

私たちのテーマである、「楽しく活気のあるまち」にするために、一人ひとりでできること以外にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

2つあります。一つ目は、地域清掃に参加し、さんさんロードや湯野公園の環境整備に努めることです。二つ目は、総合的な学習の時間で行われる「ふるさと探訪」で、湯野の歴史や自然に触れ、地域の方との関わりを通して、地域とのつながりを深めるようにすることです。

この二つを行うことで、少しずつテーマに近付けると思います。しかし、万全ではありません。

◆勝野井琳議員

そこで市長に提案いたします。

一つ目が、「湯野温泉公園のトイレを一新すること、遊具を増やすこと」です。現在トイレは男女一緒のような作りになっており、また衛生面でも不安です。あらゆる人が気持ちよく使用するために、男女別、おむつルームの完備、ユニバーサルデザインなど一新することはできないでしょうか。湯野は2023年度から湯野荘が再開することも踏まえ、使用人数の増加が見込まれるため、ぜひ検討いただきたいと思います。そして遊具についても、現在ブランコのみです。湯野小学校のどの学年の児童に聞いても「遊具が少ないから楽しくないし、使う気にもならない。」と答えました。これではテーマに沿えません。遊具を増やすことで、遊ぶスポットになり、また遊ぶ子どもの数が増えることで、自然と地域との関わりも増えていくと思います。

◆原田陽生太議員

二つ目が、「湯野公園で行われるイベントの開催を定期的に行うこと」です。11月3日日曜日に行われたイベントでは多くの人が集まりました。しかし、この日のみ人が集まり、この日以外は、寂しいいつもの日常になってしまいます。この公園での定期的なイベント開催の回数を増やし、さらに温泉や足湯など、湯野でしか味わえないような内容にすることで、オリジナリティも出るのではないのでしょうか。湯野の良さを知ること、集客効果も見込め、結果的に湯野の活性化にもつながると思います。

◆植田華恵議員

三つ目が、「サンサンロードという散歩道を整備すること」です。本来であればここを歩くことで湯野の歴史を学ぶことができ、また隣接する夜市川へと降り、水遊びもすることができます。しかし、夏場は草が生い茂り気持ちよく散歩ができるような道になっていません。草刈りや花壇の整備等を徹底することで人が集まるスポットがさらに増え、本来の目的が達成されると考えます。私たち湯野の子どもたちの学びのために、そして湯野を愛する地域の皆さんのために、ぜひお願いします。

以上、3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

湯野小学校の皆さんから、湯野を楽しく活気のあるまちにするためのご提案をいただきました。湯野の魅力をより高めるための取組を考えてくださいましたね。とても嬉しく思います。

湯野地区は、自然豊かな景観を有しており、観光資源である湯野温泉は防長三名湯の一つとして、湯治場、美肌の湯として知られ、市内外から温泉目当てに訪れられる方も多く、本市の貴重な財産となっています。

また、地区のコミュニティの皆さんをはじめ、多くの方が地域を盛り上げようと頑張っていると思いますので、私たちも一緒になって地域の活性化に向け頑張っていきたいと考えております。

まず、「湯野公園のトイレを一新してはどうか」とのご提案にお答えいたします。

市内には周南緑地公園や永源山公園などの大きな公園をはじめ、湯野公園などの身近な公園がありますが、遊具やトイレにつきましては、整備されて数十年経つものがほとんどで、古くなったものから順番に修繕したり、新しいものに替えたりしています。

湯野公園のトイレは平成23年にペンキの塗り替えなどを行いましたが、建てられて40年近く経過していますので、今後改修等が必要だと考えています。

しかしながら、新しくする時期につきましては、市内にある公園でより古いものや、故障して利用できないものを優先して行う必要がありますので、今すぐ新しいものに整備することは難しいと考えていますが、皆さんが気持ちよく利用できるよう維持管理を行ってまいります。

次に、「遊具を増やしてはどうか」とのご提案にお答えいたします。

公園は、散策や遊び、休息、スポーツをするなど、いろんな方が利用されます。湯野公園につきましても、様々なイベントなどが開催されるなど、身近な公園として利用されています。

湯野公園の遊具や施設の整備につきましては、皆さんが快適に、楽しく、安全に公園を利用できるように考えていきたいと思っております。

次に、「湯野公園での温泉や足湯を絡めたイベントの定期開催」についてのご提案にお答えいたします。

湯野地区では、「湯野温泉郷夏祭り・盆踊り大会」、「湯野ふるさと祭り」など、一年を通じて様々なイベントが行われています。昨年11月3日には、地域の方々が、湯野温泉郷のかつての賑わいを取り戻そうと、新たに「おいでませ湯野」というイベントを開催されました。私も伺っ

たところ、非常に多くの人々で賑わっており、観光地としての湯野地区の魅力を改めて実感いたしました。

地域の方々からは、今後更なる魅力向上に向けて、湯野温泉郷一帯を巡るような催しをはじめ、地元で採れた野菜などを販売する朝市を開催したり、週末にはキッチンカーを呼んだりして、多くの人が集まる楽しいイベントを企画することで湯野の魅力発信に取り組みられると伺っており、私も大変楽しみにしているところです。

市では、地域が開催するいろいろなイベントを広報やホームページで情報発信しながら、湯野地区の観光振興を図ってまいります。

最後に、「サンサンロードの環境整備」についてのご提案にお答えいたします。

太陽と日曜日を合わせ、さんさんと輝く道という意味を含めたサンサンロードには、ホテル観賞をはじめ、城山から不時着して湯野温泉で休息した天狗の伝説を記すモニュメントや、夏目漱石の「坊っちゃん」のモデルと言われる弘中又一の少年時代を銅像にした「釣りをする坊っちゃん像」などの観光資源のほか、四季折々の自然を感じられる休憩場所もあり、夜市川沿いを散策できるスポットとなっています。

サンサンロードの中の歩道につきましては、市が地域の団体をお願いして草刈りや清掃を実施していただいています。皆さんが言われるとおり、夏場は草が生い茂る時期ですので、草刈りの効果的な実施時期や整備内容を地域の団体と話し合い、訪れた方が気持ちよくサンサンロードを散策できる方法を検討してまいります。

また、川辺にあります「集いの水辺」や「遊びの水辺」は山口県が管理されていますので、県と協議し、散策しやすい環境整備を考えていきたいと思っております。市としましても、引き続き観光地としての湯野地区の魅力向上に取り組んでまいります。

○議長

再質問はありませんか。

◆高橋友飛議員

トイレを一新することについてですが、安全性や衛生環境についてどうお考えですか。また、遊具を増やすことについてですが、遊具を使って遊びたい気持ちはあるけれど、少ないがために使われていない公園の現状についてどうお考えですか。

◎都市整備部長

まず最初に、トイレの防犯についての安全性や衛生環境のご質問についてお答えいたします。

まず、衛生環境については、現在、湯野公園のトイレは、使われる方が快適に利用できるよう、地域の自治会の方たちのご協力を得て、定期的に清掃を行っております。皆さんも、トイレを利用する場合、後で利用する人や、大勢の方が利用することを考え、きれいに、また大事に使って頂ければ嬉しく思います。

次に、安全性についてですが、トイレは男女兼用のため、特に女性の方には気になることが多いと思います。

今後、湯野公園だけでなく、市内にあるすべての公園の施設について維持管理を行っていく中で、それぞれの施設の整備時期などを検討する必要があるため、湯野公園のトイレをすぐに新しくすることは難しいかも知れませんが、こういった所を改善すれば安全に、また、衛生的に利用できるか、皆さんをはじめ、地域の方のご意見をお聞きしながら考えていきたいと思っております。

最後に、遊具についてですが、先程、市長からもお話がありましたが、公園は子どもからお年寄りまで、いろんな方が利用されます。また、地域のコミュニティの場として、イベントや祭り

などにも利用されます。

私からの提案ですが、公園では、遊具で遊ぶだけでなく、遊具を使わない遊びもたくさんあると思いますので、ぜひ、お父さんやお母さんに、子どものころ、どんな遊びをされて聞いてみてください。きっと、遊具で遊ぶだけでなく、いろんな遊びをされていたと思います。

皆さんも、どんなことをすれば公園を楽しく利用できるのか、いろんな知恵を出し、工夫を試してみてください。そうすれば、公園がもっと身近で、もっと楽しめる場所になると思います。

私たちも、どんな遊具や施設が公園があればいいのか、一緒に考えていきたいと思っております。

○議長

ほかに再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、湯野小学校の一般質問を終了いたします。

【 湯野小学校5名、議員席に移動 】

○議長

これをもって、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

ここで、市長からあいさつがあります。

◎市長

こども議員の皆さん、大変お疲れ様でございました。いかがでした、無事終わってホッとされていることと思います。

皆さんの発表を聞いていて、自分たちの住んでいる地域のことが大好きで自信をもっておられること、そして、その大好きな地域をより良くしようとする一生懸命な思い、それがすごく伝わってきました。私も聞かせていただいて、市長として本当に嬉しく思いました。

皆さんのような、これから未来を支える人が大きくなったときにも、安心して暮らし続けていける、そんなまちをつくるのが、市長としての私の責務だと思います。そのために、今日いただいたご提案というのは大変重要でございます。すぐにできるものもあります。また、できないものもたくさんありました。しっかり声を聞かせていただく、それがこれからのまちの力になると思っております。今日は皆さんの考えを聞かせていただけて本当に良かったと思います。素晴らしい発表ありがとうございました。

4月からはいよいよ皆さん中学生ですね。どうぞ健康に気をつけて、勉強もスポーツもしっかり頑張っていたきたいと思っております。今日は、本当に素晴らしい意見発表いただきありがとうございました。

○議長

私の方から、一言あいさつをいたします。

皆さんは、今日のこども議会に備えて、しっかりと学校で学習され、練習を重ねて来られたことだろうと思います。その成果が発揮できましたか。

皆さんが、日頃から心に留め、身近に感じている疑問や課題、そして未来の周南市にかける思いをしっかりとお聞きしました。もちろん、実現できることやできないこともあります。次の時代を担う皆さん方のために、議会も明るく住みやすいまちづくりに、市長とともに協力しながら

ら取り組んでいきます。

皆さんも満18歳になると、政治に参加する権利である選挙権があり、市民の代表を選ぶことができます。そして、満25歳になると市議会議員に立候補することもできます。

是非、今日のこども議会を体験した皆さんの中から、将来、議員を目指す方が出ることを期待しています。一緒に頑張りましょう。今日はありがとうございました。

○議長

これで、会議を閉じます。

以上で、令和4年度周南市こども議会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。

午後3時26分閉会

ここに署名する。

周南市こども議会 議員

周南市こども議会 議員
